

さんくす

名称は「フォルテ桐生市場店」ベルク、地元説明会で判明



建設工事が進む出店予定地

桐生地方卸売市場の一角に出店するスーパーマーケット株式会社ベルク(埼玉県鶴ヶ島市)の大規模小売店舗立地法に基づく地元説明会が2月20日(火)に、同市場の研修室で午後2時と6時の2回行われました。2時の説明会には地元住民や市場関係者など19人が参加しました。

これによると、名称はフォルテ桐生市場店(きりゅういちばてん)で、店舗の延べ床面積は4081㎡、駐車場253台、駐輪場80台で、営業時間は午前9時から午前0時です。

ベルク以外の店舗としては、物販店はバラエティーショップ(100円均一)とドラッグストア、美容室のほか、コーヒーショップを予定しています。具体的な店名に関しては「まだ明かせない」とのことでした。立地法上の開店予定日は本年8月29日ですが、実際にオープンするのは9月にずれ込む事になりそうです。

質疑の中で、開発についての事前協議が無かったことについては「県と協議し事前協議は不要なことを確認している」とのことでしたが、地元軽視ともとれる進め方は否定できません。

また、アクロスプラザが近くにある事についてベルク側では「共存共栄していけると考えている」との回答でした。交通安全や地域安全については「午前0時30分から8時30までしっかりと鍵を閉めるので、たまり場になるような問題はない。地域のひととともに地域安全に取り組みたい」と話していました。

「合同庁舎など、桐生市とみどり市双方にとって便利な施設にしてほしかった」と説明会に訪れた男性が話していました。



説明をする関係者

消防団第一分団詰所立て替え

昭和54年に現在の詰所が建てられてから今年で44年が経過しました。そのため雨漏りや壁の一部にクラックがあるなどの老朽化が進んでいました。そのため市の公共施設等総合管理計画にもとづき、詰所の建て替え工事が行われています。

建屋は鉄骨造平屋91.09㎡で旧建屋面積より20㎡ほど広くなりました。団員の要望をとり入れて、これまでは土間だったものをフローリングにしたほか、内装はみどり色ベースと工夫されています。もちろん車庫は以前より広くとっており、新型車両にあわせて作りです。



完成間近の詰め所

さんくす10周年を迎えて

お陰様を持ちましてさんくすは3月号で10年目第40号という節目を迎えることが出来ました。これまで歩んでこられたのはひとえに行政区のご支援と支えてくださる区民の皆様方のおかげと深く感謝申し上げます。

この10年を振り返ってみますと平成26年5月に地域密着型広報誌として第1号を発行しました。当面の目標としては年4回の定期的発行を確保し、第40号までを目指しました。

第5号からは紙面をカラー印刷にし、写真等の情報密度を上げました。第6号からWeb版を開設し紙版とパソコンやスマートフォンで閲覧できるようになりました。また、第29号からはQRコードからも読み取り出来るよう利便性を向上させました。

当初の目的は行政区、各種団体等の事業や行事を中心に地域の話、魅力、歴史などを掲載する事でしたが、コロナ禍での3年間は各種行事が中止となり記事不足が深刻でした。

幸いにも当地区は荒神山や阿左美沼周辺、水田風景など自然環境に恵まれており、四季折々の散策記を掲載できました。また阿左美駅の移転や県道の4車線化、通学路改修などの大型工事の進捗状況など、行事だけに頼らない情報を取材し、休刊することなく継続できました。

今後も初心に帰って読みやすい、分かりやすいを遵守し20周年、第80号を目指し、確かな情報を提供して行きたいと考えています。今後ともご理解とご支援の程よろしくお願い申し上げます。 広報委員長 武井章

笠懸東小学校4年生阿左美沼清掃

令和5年12月1日(火)の10時半から約1時間、東小学校4年生による阿左美沼清掃が行われました。これは総合学習の屋外体験授業として平成13年から行われ、今回で23回目となります。



ゴミは年々減少

当日は阿左美沼土地改良区、農地・水阿左美地域環境保全協議会の協力のもと合計87人により行われました。

清掃作業は2人一組となりゴミを集めました。清掃活動初期は700kgも集まったゴミが昨年は190kgでした。事務局の阿左美沼土地改良区によると、今年は100kgと年々少なくなっているそうです。

毎年6月になると新5年生がこの阿左美沼から流れてくる水を引き込んだ学校の水田で田植え実習を行います。この屋外体験授業を通して自分たちが育った地域への理解や愛着が深まることが期待されます。

行政区の動き 区長 岡田 弘

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に変更されたこともあり、今年度は多くの行事が復活した1年になりました。

主な行事としては、行政区では納涼祭、敬老行事、荒神山柴刈り、区民ゴルフ、福祉部・親老会ではわかばサロン、グラウンドゴルフ、育成会では研修旅行、子ども八木節、上毛かるた、廃品回収等が年度計画通りに実施できました。

特に4年振りに復活させた行事を開催する際には行政区、地区公民館主事、育成会役員らはそれらの行事が未経験であったため、地区公民館OB会を始めとした多くの経験者の御協力により、何とか開催できたと認識しております。この場をお借りして御礼申し上げます。

なお、区民の皆様にとっては内容的に不十分で至らぬところも多々あったかと思えます。その点は、来年度役員に引き継ぎ、さらに内容的に充実され、区民の皆様の活力の一助になれるような活動となるようにしたいと思います。今後も行政区各種活動へのご協力を切にお願い致します。

防災避難訓練で地震体験

公民館大掃除の際に例年防災避難訓練を行っていますが、今年度は地震体験車を使用した体験会を行いました。



新潟県中越地震を再現した震度6強の揺れを体験したときには、足は床から離れてしまいテーブルにしがみつくながやっとなりました(写真)。

この地域の危険性は低いと思われませんが、地震という自然災害が無くなることはありません。その時に命を守る行動や迅速な対応をとることの大切さを感じるきっかけとなりました。

80人参加で公民館の大掃除

12月3日(日)午前9時より、毎年恒例の三区公民館大掃除が公民館関



係者・各種団体他、約80人参加の中行われました(写真)。ほとんどの参加者が慣れており、手際よく公民館屋内の清掃と屋外広場の除草作業を行い、一年間の汚れを落として気持ち良く年を越すことが出来ました。

わかばサロンⅡ 琴の音、マンドリン演奏と手打ちそば

令和6年1月11日(木)10時から三区公民館において、わかばサロンⅡが三区民生委員、児童委員、三区親老会の主催で開催されました。当日は非常に寒い中でしたが、30人以上の方が参加されました。



琴演奏では荒城の月、マンドリン演奏では寒い朝などが披露され、多くの方が口ずさんで楽しんでいました(写真)。輪投げ大会も行われ大いに盛り上がりました。また、6人のそば打ち名人が国内産のそば粉を使って早朝から手打ちしたそばが参加者にプレゼントされました。

そば打ち会、藤生定雄会長によると多めの沸騰したお湯にそばを投入、再沸騰後10秒で揚げるのが大事とのことでした。

笠懸町子ども会 上毛かるた大会 個人戦に4人、団体戦に4チーム出場

1月14日(日)に笠懸公民館で、第64回笠懸町子ども会上毛かるた大会が開催されました。三区からは、1年生から6年生までの22人が個人戦4人と、3人1組でチーム編成された団体戦に4チームが挑みました。

子ども達は、大会出場に向けて11月下旬から1月中旬



高学年の参加者

まで週2回の練習をしてきました。

練習の成果を大会で発揮した結果、各チームは惜しくも3位入賞を逃しました。しかし、三区からは昨年度より1チーム多い8チームが出場できたことは、区民としても嬉しく思います。子ども達にとっても、三区の仲間とともに大会に出場したことは、良い思い出になることでしょう。



低学年の参加者

子ども育成会

今年度の活動と課題

今年度は、コロナ禍で中止していた行事である子ども八木節や三区子どもまつりを再開することができました。子ども八木節は参加者が集まるか不安でしたが、三区納涼祭と笠懸まつりでの披露に向けて、20人以上も参加してくれました。

役員と子ども達は初めて経験する人が多い中、経験者である6年生が頼もしく、八木節愛好会の皆さんが講師として熱心な指導してくれたおかげで、笠懸まつり披露までの5か月を終えることができました。

三区子どもまつりは、4年ぶりの開催で役員も一連の流れが解らない中のスタートでした。OBの方々に企画から開催当日も協力していただき、大きな混乱もなく開催することができました。

課題としては役員不足で、行事開催のたびに多くの子どもたちが楽しく参加してくれています。ですが、行事の企画運営には役員が必要です。子どもたちのためにも、一度は役員を引き受けてほしいと思います。来年度に向けて、コロナ禍前とは手法を変えながら、今の時代に沿った形で子どもたちが安全に楽しめる行事を開催していきたいと思います。

育成会の資源ゴミ回収 ご協力に感謝

子ども育成会では、資源ゴミ回収を今年度も予定どおり年3回実施することができました。第3回目は2月18日(日)に実施されましたが、収入金額は集計中です。昨年11月に実施した第2回目の収入は20,576円あったそうです。

年3回の収入金は、育成会行事に参加している多くの子ども達に有効活用することができているようです。

子ども育成会の山澤会長から「区民皆様のご協力に感謝しております。次年度も引き続きお願いします。」と感謝の言葉がありました。なお、山澤会長は3月の任期満了をもって退任となります。

笠懸東小学校5年生による収穫祭



お米の生産量を調べてみました

2月6日(火)笠懸東小学校5年生による総合的な学習で学んだ米作りのまとめとして収穫祭が行われました。内容は授業参観と米作り支援者を招いて生徒たちが企画し発表班と料理班に分かれて発表しました(写真)。

発表班は米の生産量、品種、消費量の変化等、日本と世界との比較など米について調べた事、分かったことを手作りのスライドやパネルで発表しました。料理班は米を使ったレシピを紙版とORコードで読み取れるよう提示していました。また、試食として収穫した米で五平餅を参加者に振舞いました。

筆者は米作り支援者として参加しましたが、事前学習や体験、まとめ発表会を通して米作りをより理解できた収穫祭だったと感心しました。

さんくすがインターネットでも見られます

<https://sannkusu-kasakake.com> 右のQRコードを読み込んで下さい



小沼西にパンジーを植栽

11月25日(土)午前9時より、農地・水 阿左美地域環境保全協議会主催により、パンジー260鉢を小沼西側道路沿いに植栽しました。この



協議会は阿左美沼土地改良区役員と一、二、三区の行政区長さんや各種団体の代表の方々が構成員となって地域の環境や景観維持を目的として活動しています。

当日は今シーズン最も冷え込んだ朝となりましたが、15人が参加しました。寒さに強いパンジーは殺風景になりがちな冬期のガーデニングにはな

くてはならない存在です。小沼周辺は散歩道として整備されています。冬から早春に向けて様々な色合いのパンジーを楽しんでいただけたらと思います。

阿左美駅前にパンジー700株を植栽

12月9日(土)東武スカイツリーライン友の会では約20人が参加して阿左美駅前の花壇に黄色・ピンク・



紫のパンジー苗700株を植栽しました。

友の会ではこれまで5年間、月1回駅周辺でのごみ拾いや除草を続けてきました。令和5年度は、みどり市市民提案型事業に応募し採択された事により、新規事業として今回パンジーの植栽を行いました。

友の会メンバーは藤生隆行会長をはじめとする阿左美地区を中心とする約50人(令和5年12月末時点)で活動を行っています。

歳末夜警

第一消防団の歳末夜警が今年12月28日から30

日までの3日間、19時から0時の間例年どおり行われました。火災を出さないことが一番であり、火災発生の多い年末のこの時期、火の用心の定期パトロールは大切です。昨年3月に納車された新型ポンプ車で



の歳末パトロールも今年2年目ですが、工事関係で駐車場が狭く注意深い運転が要求され、苦勞していたのがわかりました。写真は厳寒の中パトロールに出発する団員。

事業所紹介(11) 東武観光

同営業所は国道50号阿左美仲交差点横、阿左美1255-1番地にあり、開業以来40年、区民にも広く親しまれる旅行代理店です。

「地域密着型の観光業に努めてきた」と営業所責任者の片山さんのお話ですが、感染症コロナ禍の数年間は大変であったと推察されます。

三区特別区費等のご協力では継続的に世話になっています。「今年、看板を塗り替え、リニューアルです」と明るく話をしてくれたのが印象的でした。

三

ちょっとピンぼけ

新年は明るく希望の持てる年であって欲しいと願っていたのに、能登半島地震、羽田の航空機事故と悲惨な出来事が続いた。失われた多くの尊い命。被災された方々に、一日でも早く穏やかな日常が訪れて欲しいと思う。

自然災害や不慮の事故は、いつどこで起きても不思議ではない。だから、命を守る為の準備はしたい。我が家では、水や食品、薬等の備蓄品を再確認し追加補充した。家屋が無事なら、なんとか自宅で数日は過ごせるだろう。太陽光発電と蓄電池も役立つ

てくれると助かる。

また、遠出も多いので、緊急避難用に身の回り品の軽量化も再考した。飛行機や電車の事故等の際、避難時に荷物の持ち出しはほぼ不可能だ。

いざという時の為、移動中は常に、自宅や車の鍵、携帯電話、財布を身に付けようと思う。ホテルでは、ポーチ等に貴重品を入れ枕元に置いている。身を守り、生きる為の準備も可能な範囲でやりたい。大変な世の中だが、少しでも安心できる日々が訪れることを願う。(棚)

